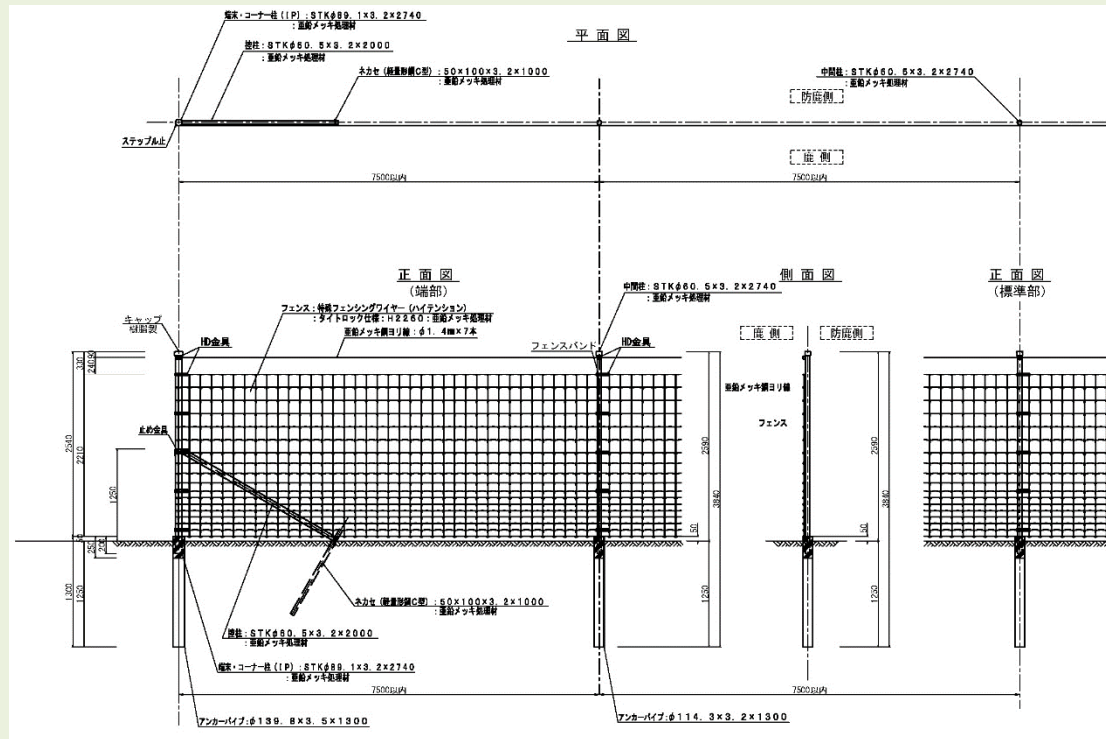


希少生物情報掲載により口外禁止

### ◆ 運転者の交通安全の観点からの 道路への侵入防止対策（ロードキル対策）

- ・ 橋梁を除き防鹿柵（高さ2.5m）を設置し、橋梁下へシカを誘導。
- ・ 道路事業としては道路の南側に防鹿柵を設置、JRや国道が並行する北側は各管理者と協議。
- ・ 柵の端部の隙間をなくし、ドレスネットにより下部を塞ぐ等、小動物の侵入を防止。
- ・ 自動撮影調査によるモニタリングの継続。

防鹿柵一般図（案）



# 今年度までの環境調査結果

## 2.環境調査結果と環境保全措置(対策)について 12

希少生物情報掲載により口外禁止

### ◆哺乳類：コウモリ類調査結果の概要

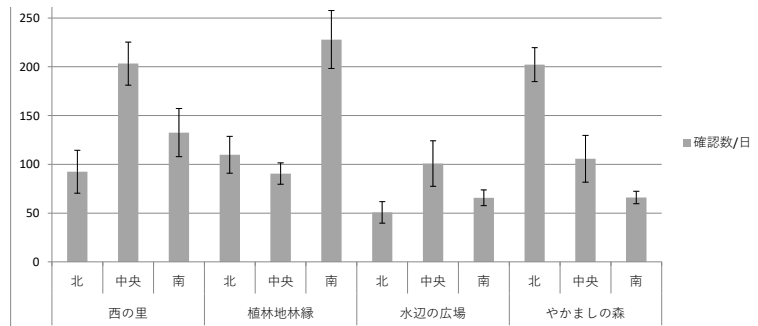
- BDレコーダー調査では、全地点でコウモリ類の反応を確認（現在解析中）。
- 捕獲調査でヒメホウヒゲコウモリ、コテングコウモリ、モモジロコウモリの3種を捕獲。
- ねぐらとなる樹林地は周辺に広く分布。

調査日：R1年10月（BD）、R2年3月、4月、5月（ねぐら）、6月～9月（BD録音）、7月27～30日、8月12～13日、24～27日、9月14～15日（捕獲）



分類区分凡例 ■ 原始林等の針広混交林 ■ 落葉広葉樹中心の樹林 ■ 水辺の環境 ■ 針葉樹植林 ■ 市街地・畑地・雑草群落

BDレコーダによる確認数/日と標準誤差(9/14時点)



ヒメホウヒゲコウモリ  
R2.7.28撮影



コテングコウモリ  
R2.7.28撮影



モモジロコウモリ  
R2.9.14撮影

- ⇒ 改変域の最小化および橋長の変更。
- ⇒ 餌となる昆虫類を誘引する街灯を設置しない。
- ⇒ 活動期（夏季）の夜間工事実施時は照明等にて配慮。

希少生物情報掲載により口外禁止

### ◆鳥類：重要種モニタリング結果の概要

- オオタカ：R1は2羽の幼鳥が巣立ち、R2は同じ巣で抱卵を確認、最終的には繁殖失敗。
- ハイタカ：R2にレクリエーションの森（範囲外）で新たな営巣を確認。
- クマゲラ：事業地周辺を広域に採餌場として利用。

調査日：H30年7～8月、11月～R1年7月、11月～R2年8月

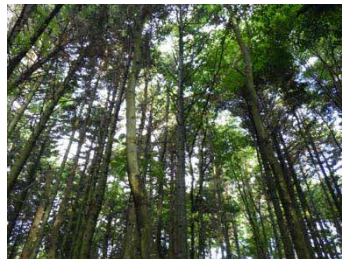
希少野生生物情報を掲載しているため、  
非表示としています。



オオタカ営巣林  
R2.7.14撮影



オオタカ♀  
R2.6.16撮影



ハイタカ営巣林  
R2.8.11撮影



ハイタカ幼鳥  
R2.8.2撮影



クマゲラ♂♀  
R2.5.18撮影

⇒繁殖期のモニタリングにより配慮区域内で営巣兆候を確認した場合、保全措置を実施。  
⇒餌となる昆虫類の活動期（夏季）の夜間工事実施時は照明等にて配慮。



希少生物情報掲載により口外禁止

### ◆工事による繁殖阻害の懸念

⇒配慮区域・配慮期間における工事中止・立ち入り禁止

- ・ 工事期間中はモニタリングを継続し、オオタカ・ハイタカ・クマゲラの繁殖状況を調査。
- ・ 配慮区域（巣より半径250m）内において、繁殖期間（4月～7月）の施工中止、測量の禁止等の保全措置を実施。

#### 営巣を確認した場合の『配慮区域』における保全措置

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
モニタリング	○	○	○	○	○	○
工事		中止	中止	中止	中止	

希少野生生物情報を掲載しているため、  
非表示としています。

希少生物情報掲載により口外禁止

### ◆両生類：エゾサンショウウオ調査結果の概要

- 裏の沢川と周辺の沢・湿地で産卵、多くの産卵水域は夏季（上陸）までに枯渇。
- R2春季に改変域に産卵した卵囊の移植を実施、工事計画変更により放流。

調査日：H31年4月19～20日、R2年4月14～15日、15日～16日（仮移植）、5月19日（放流）、7月27日（水域調査）

**希少野生生物情報を掲載しているため、  
非表示としています。**



エゾサンショウウオ卵囊  
R2.4.14撮影



移植地の状況（西の里）  
R2.4.17撮影



移植地の状況（やかましの森）  
R2.4.16撮影

⇒改変域の最小化及び橋長の変更。

⇒上陸後から繁殖前（冬季）に改変域の産卵池を埋め立て、改変区域外での産卵を誘導。

⇒脱出用スロープ付き側溝・柵による、ロードキルの防止。